スタッフのメンタルヘルス対策

お天気マークでコンディションチェック

新入社員の定着支援

人材コンサルティングを行うテガラミル（東京都千代田区）は、人材定着支援アプリ「テガラみる」で介護業界における新入社員の定着支援サービスを本格的に始める。

テガラミル

人材の離職防止のために同社が提供する「テガラみる」は、日々変化する従業員のコンディションを、お天気に例え簡易的に可視化し、その変動に対し、タイムリーに対応できるサービス。

モニタリング・フォロー代行も

勤務を終えた社員に、「最高」「良い」「普通」「やや悪い」「悪い」「最悪」という気分を表した6つのお天気マークからその日の気分にあったアイコンを端末上でタップし、その理由を記入してもらうことで、人事担当者などは日々社員の気分をモニタリングできるようになる。社員のコンディションが可視化できるため、適切なタイミング・言葉で声掛けなどのフォローができるようになるという。

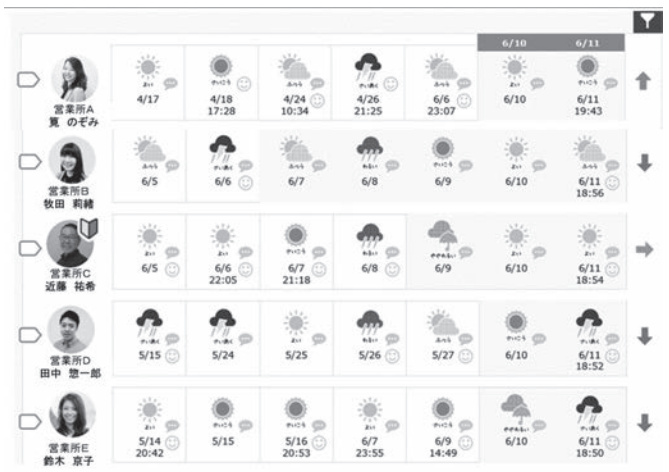
テガラみるを導入する場合、社員と直接かかわりがなく、利害関係がない立場の者がモニタリング・フォローすることで、より社員の本音が聞き出せる。介護業界では事業所の施設長ではなく、本社の管理部がモニタリング・フォローする方がより効果的だという。

一方、中小企業では人事部が無かったり、管理部と社員との距離が近かったりすることが多いことから、同社ではこのような企業を対象にモニタリング・フォローの代行サービスも実施している。

「数年前まではアプリのみを導入する企業の割合が多かったが、近年は代行サービスも導入する企業が増えています」（安藤マネジャー）

ある介護関連事業者ではテガラみるを導入したことで、1ヵ月以内の退職率が31・8％から17・1％までに改善された。

料金は初期費用が10万円。月々の費用は50IDまでの場合7万5000円。モニタリング・フォロー代行を同社が行う場合は、別途費用が発生する。昨年11月にユーザー数が10万人を突破。



▲企業側担当者向け管理画面。社員のその日のモチベーションを一覧できる

声でマインドヘルス測定

従業員・利用者を対象に

リスク計測テクノロジーズ

リスク計測テクノロジーズ（横浜市）は、声でマインドヘルスを測定するシステム「Motivel」を活用したデータ分析を介護施設で実施している。

Motivelは、人の声でモチベーションやバイタリティ、リラクゼーション、プレッシャーといった4つの指標を算出できる。声だけで計測できるため、言語は問わない。計測時間はわずか5秒と手軽さを重視した。

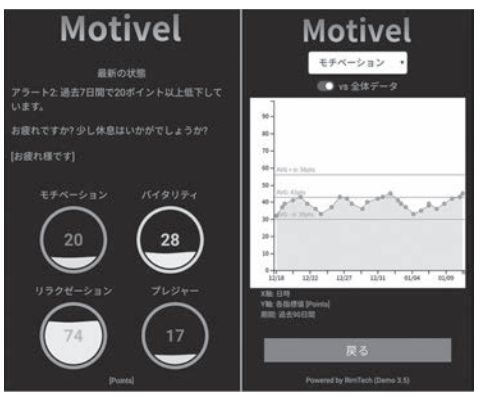
かつてコンサル会社に勤務していた岡崎貫治社長は「多くの企業とかかわるなか、従業員のメンタルヘルスケアの重要性を強く感じた。誰でも簡単に素早くチェックできるツールとして同製品を開発した」と語る。

昨年からPRESENCE（横浜市）が運営するデイサービスでMotivelを導入し、従業員と利用者のマインドヘルスデータを蓄積してきた。

利用者も測定の対象とすることで、その日の利用者の気持ちを可視化できるため、現在提供しているレクリエーションや環境が本人にとって最適かどうかを見直す判断基準が明確となる。

今後は言語コミュニケーションに頼らない介護サービスの満足度評価を客観的かつ定量的に行う。

満足度を客観的に評価



▲5秒で計測できる

同施設ではMotivelを導入したことで、以前よりも求人応募が集まるようになり、採用がしやすくなったという。

「利用者の日々の気持ちが可視化されたデータはケアマネジャーや家族へのレポートとしても活用できます」（岡崎社長）

料金は1人あたり月額300円。今後は見守りカメラや健康チェックサービスとの連携もしていくという。